

第9回 SDGs研究会

2023年10月10日(火) 13:00~16:30

会場

オンライン開催

(TKPガーデンシティPREMIUM札幌大通より配信)

定員

なし

参加費

無料

申込期間

2023年8月25日(金)~10月6日(金)

●下記サイトからwebフォームを通じてお申し込ください。

<https://www.sapporo.coop/corporate/content/?id=942>

コープさっぽろ公式サイト → 「お取引先の皆様へ」 → 「北海道SDGs推進プラットフォーム」



プログラム



基調講演: **沖 大幹氏** 東京大学 大学院工学系研究科 教授

テーマ「みずから考える人と自然の未来」

1964年東京生まれ、西宮育ち。博士(工学、東京大学)、気象予報士。東京大学助手等を経て2006年より生産技術研究所教授。2016-21年には国連大学上級副学長、国際連合事務次長補を兼務。2020年より現職。専門は土木工学で、特に水文学、地球規模の水循環と世界の水資源に関する研究。気候変動に関する政府間パネル(IPCC)第5次評価報告書統括執筆責任者、国土審議会委員ほかを務めた。書籍

に『水の未来』(岩波新書)、『水危機 ほんとうの話』(新潮選書)など。生態学琵琶湖賞、日本学士院学術奨励賞など表彰多数。2020年10月より日本学術会議会員、ローマクラブ正会員。2021年国際水文学賞Doogeメダル、2023年ヨーロッパ地球科学連合John Dalton Medal。2021年10月より東京財団政策研究所研究主幹(非常勤)として「未来の水ビジョン」プログラム担当。水文・水資源学会会長。



事例報告: **川上 芳彦氏** ホクレン農業協同組合連合会 経営企画部 次長

テーマ「ホクレンのサステナビリティの取り組みについて」

北海道小川町出身。北海道大学文学部哲学科(西洋哲学)卒業。1993年ホクレン入会、地域の食を守るJA経営のスーパー「Aコープ」の支援・存続に携わり、人事課勤務などを経て2020年より経営企画部企画課、2023年より現職。サステナビリティへの取り組みは重要な経営課題の1つであるとの認識の下、企画課にて「持続可能な北海

道農業の実現への貢献」を掲げる「Vision2030」や「SDGs方針」作りに携わり、ホクレンのサステナビリティを進めています。自身地方出身者であり、地元を含め北海道の自然資本の維持と地域社会の存続を強く願っています。

SDGs QUEST みらい甲子園 2022年度北海道大会受賞校



事例報告: **北海道岩見沢農業高等学校**

テーマ「地域の未利用資源を活用した北海道周年栽培モデルの確立に向けた研究」



事例報告: **北海道剣淵高等学校**

テーマ「北海道発 食文化のモデル作り」



事例報告: **市立札幌開成中等教育学校**

テーマ「海洋プラスチックの再利用」

問合せ

北海道SDGs推進プラットフォーム事務局(生活協同組合コープさっぽろ 組織本部)
csap.sdgs@sapporo.coop / 050-1751-4868